

3. 一般会計のはなし 【支出編】

市の支出について（目的別）



収入の次は「支出」の勉強かな？でていくお金だよな？

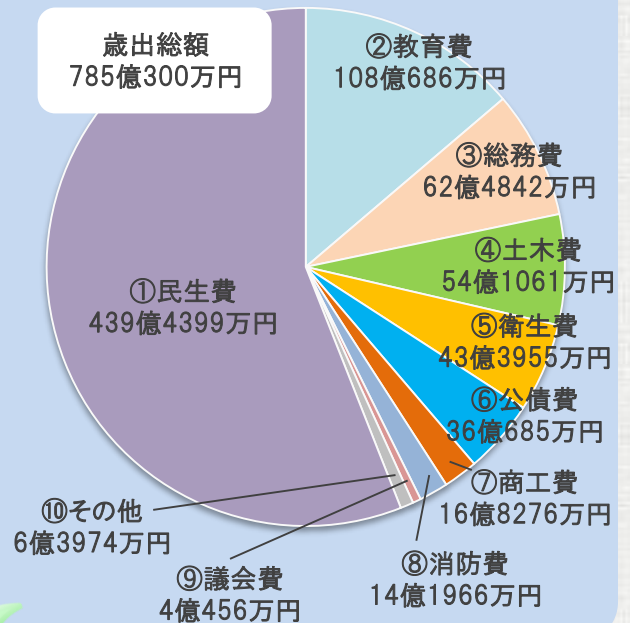


そのとおりじゃよ。そして、1年間に使うお金をまとめたものを「歳出予算」というのじゃ。

また、歳出予算には、「目的別」と「性質別」の見方がある。

まずは、お金を使う目的ごとに分けている「目的別」の歳出予算をみてみよう！

令和6年度 一般会計歳出予算(目的別)



歳出（目的別）の各項目の説明 【全体に占める割合】

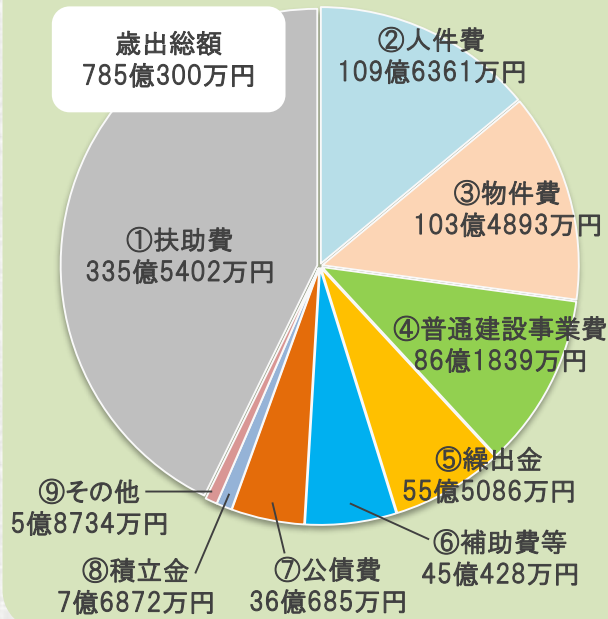
①民生費【56.0%】	子どもや高齢者、障がい者などが安心した生活を送るために使うお金です。
②教育費【13.8%】	学校での教育や図書館・博物館の運営などに使うお金です。
③総務費【8.0%】	税金の徴収や市庁舎の管理、財産の管理など、市役所を運営するためのお金です。
④土木費【6.9%】	道路や公園、市営住宅などを作ったり、修理したりするお金です。
⑤衛生費【5.5%】	ごみの収集や医療・保険など、市民の生活や健康を守るためのお金です。
⑥公債費【4.6%】	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑦商工費【2.1%】	商店街・企業の支援や観光の振興、まつりの開催などに使うお金です。
⑧消防費【1.8%】	火事・台風や、怪我・事故などから、市民の命や財産を守るために使うお金です。
⑨議会費【0.5%】	議員のみなさんの給料や議会の運営などに使うお金です。
⑩その他【0.8%】	他にも「農林水産業費（農業・畜産業・漁業などの支援）」「労働費（働く人の支援）」「災害復旧費（災害の被害から復旧するための費用）」などがあります。



市役所の仕事を目的別に大きく分けるとこのようになるのじゃ。その中でも、子どもやお年寄り、障がい者のために行う仕事に約半分のお金が使われていて、教育や道路・公園などに使うお金も結構大きいのじゃな。

市の支出について（性質別）

令和6年度 一般会計歳出予算(性質別)



次は「性質別」の歳出予算だね！でも、性質別って？
 なんだか分かりにくいなあ…？



教育に使う予算や消防に使う予算など目的が違う予算の中でも、職員の給料や事務用品の購入代金などお金の使いみちが同じ性質のものがある。そのような見方でお金を分けたものが「性質別」じゃ。では、「性質別」の歳出予算をみてみよう。

歳出（性質別）の各項目の説明【全体に占める割合】

①扶助費【42.7%】	医療や福祉など、生活を助けるための支援にかかるお金です。
②人件費【14.0%】	市の職員や議員、各種委員に払う給料や報酬などにかかるお金です。
③物件費【13.2%】	光熱水費（電気・水道等）や消耗品費（事務用品等）などにかかるお金です。
④普通建設事業費【11.0%】	市の建物や道路、公園などの建設にかかるお金です。
⑤繰出金【7.1%】	一般会計から特別会計等への支出にかかるお金です。
⑥補助費等【5.7%】	他の団体などへの補助金や負担金などにかかるお金です。
⑦公債費【4.6%】	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑧積立金【1.0%】	特定の目的のためにある市の貯金（基金）への積み立てにかかるお金です。
⑨その他【0.7%】	他にも「維持補修費（公共施設の維持や修理にかかるお金）」「予備費（緊急に必要となったことにかかるお金）」があります。

沖縄市の一年間の支出をまとめた歳出予算には、目的別と性質別があって、それぞれ違う角度からみることで、市がどのようなことにお金を使っているのか、どのようなことに力を注いでいるのかが分かるのじゃな。



沖縄市が市民のために行う仕事には、これだけ多くの予算が使われているんだね。歳出予算のそれぞれの項目は少し難しいけど、僕たちの暮らしに関わっているお金だから、これからも興味をもって勉強してみるよ♪